



救急安心センターおおさかだより

平成29年度を迎え初回の今月は、救急安心センターおおさかに相談後、119番に転送され緊急入院となった事例のうち、「アレルギー・中毒」についての事例をご紹介します。



【事例1】

0歳男児：10分ほど前に粉ミルクを飲んでいたら、急に激しく泣き出し、呼吸がおかしい。
⇒牛乳アレルギー

【事例2】

22歳女性：4時間ほど前に誤ってカフェイン剤を多量に服用した後、嘔吐が続き治まらない。
⇒急性カフェイン中毒

これらは昨年4月頃の事例で、いずれも看護師からの迅速な119番転送により救急車が出動し緊急入院となりましたが、病院搬送後の適切な治療により、後日軽快退院となりました。

～救急安心センターおおさかから～

【事例1】の牛乳アレルギーは食物アレルギーの一種として位置づけられ、主に子供に多く6歳以下の乳幼児が大多数を占める疾患であり、代表的な症状の例として、「発赤・蕁麻疹(じんましん)」「呼吸困難」「嘔吐等」などが挙げられます。

一般的に子供に多い理由は、成長段階における消化機能が未熟であるため、アレルギーであるタンパク質を分解することができないことが要因のひとつと考えられています。

また、【事例2】のカフェイン中毒は、薬剤以外のほか、コーヒーなどカフェインを多く含む食品を過剰摂取した場合でも起こる疾患であり、代表的な症状の例として、「動悸・不整脈」「嘔吐等」などが挙げられます。

上記事例に対する身近な予防策としては、食品表示の十分な確認、過剰摂取を避けるなどとともに、少しでも身体の異常を感じたら自己判断をせずに、「救急安心センターおおさか」等(中毒110番)を活用するなど、早期の対処に心がけてください。



<参考>

大阪中毒110番(365日 24時間対応)
電話：072-727-2499(情報提供料：無料)

大阪市の災害概況

◎火災概況	建物火災				小計	車両	船舶	爆発	その他	合計
	全焼	半焼	部分焼	ぼや						
2月中合計	2	1	14	46	63	4	0	0	14	81
平成29年2月末累計	5	3	33	76	117	12	0	0	36	165
平成28年2月末累計	9	5	23	77	114	12	0	1	32	159
累計比較	▲4	▲2	10	▲1	3	0	0	▲1	4	6

◎救急概況	救急出場
2月中件数(概数)	17,990
平成29年2月末累計	38,466
平成28年2月末累計	37,350
累計比較	1,116

◎火災・救急以外の消防活動概況	救助活動	危害排除	水防活動	その他の消防活動
平成29年2月末累計	526	157	0	174
平成28年2月末累計	542	189	0	180
累計比較	▲16	▲32	0	▲6